## 行政報告(平成27年6月定例会)

町長から行政運営について報告がありました。

		現総合計画が、今年度をもって計画期間満了となることから、
企画課	「第六次中井 町総合計画策 定」	28年度を始期とする次期総合計画策定に向けて作業を着手し
		ました。
		総合計画と総合戦略の2つの計画を戦略的、計画的、効率的
		に推進すべく、プロポーザル業務提案により受託者を決定し、
		事業の推進を図っています。
		現在、町民意識調査を町民、町内就業者、事業所に対し実施
		しています。
		また、町民の声を直に伺う機会として、町民、団体、行政が、
		リラックスした雰囲気の中で自由に「町のみらい」について考
		える「なかい"まちづくりカフェ"」の参加者を募集しています。
		そのほか、町の将来を担う小・中学生の意見や子育て中のお
		母さんなどと車座になって話を伺う機会など、幅広い町民意見
		の把握に努めていきます。
総務課	「土砂災害訓練」	訓練は、昨年3月に全戸配布した土砂災害ハザードマップを
		利用した危険箇所の確認、避難訓練、防災講習会などを消防団、
		小田原市消防本部、松田警察署、神奈川県にご協力いただき実
		施いたしました。
		土砂災害の発生メカニズムや居住地周辺の災害リスク情報な
		どを知っていただくことは、日常の備えや避難行動において非
		常に重要であることから、今後も継続して実施していきたいと
		考えています。
		111点の応募の中から選ばれた町のイメージキャラクター
		「なかまる」について報告いたします。
		4月のなかい子ども園の子どもたちへの初披露以降、県主催
環境経済課		イベントや町内外のイベントに参加し、町のプロモーション活
	イメージキャ	動を積極的に行っております。今後も「なかまる」を活用した
	ラクター「な	中井町のPRに努めてまいります。 
	かまる」	│ │ 今年で10回目の開催となりました厳島湿生公園「竹灯篭の
	   かっての]	ターで10回日の開催となりました厳島極生公園「竹灯電の  タベ  について報告いたします。
		タペ] について報言いたしまり。   3500本の竹灯篭、地域住民が製作したオブジェとゲンジ
	「竹灯篭の夕	するのの本の自然電、地域圧氏が表情したオプラエとグラフ    ホタルの1日限りの光の饗宴を多くの来訪者に堪能していただ
	<b>~</b> `」	およした。
		- また、日中には、厳島湿生公園の生き物などを紹介する自然
		観察会やザリガニ釣り、マイ竹灯篭作りを実施しました。今後
		も来場者が楽しく過ごせる中井町ならではの観光イベントとし
		て定着させるため、協働の取り組みを進めてまいります。
		1

ま	「中井町南地区メガソ
ち整備課	ラー整備」 「県道平塚 田線(比奈

中井町南部地区メガソーラー整備について報告します。南部地区において整備を進めてきた「SGET中井メガソーラー発電所」が完成し、4月27日、黒岩県知事をはじめ、多くの関係者の出席のもと竣工式が開催されました。

発電所の展望広場からは、富士山や相模湾、丹沢山塊などが一望でき、パノラマの景色を楽しむことができます。この地域資源を活かし、町では発電所を周遊できる散策路を整備するとともに、既存のウォーキングコースとのネットワーク化を図り、新たな観光資源として来訪者の増加に大きな期待を寄せているところです。

「県道平塚松 田線 (比奈窪 バイパス)」

部

県事業で進められている県道平塚松田線(比奈窪バイパス)の状況について報告いたします。

町民の念願でありました比奈窪バイパスが、今秋10月の供 用開始に向け、新旧道路の切替、信号機の設置、安全施設の整 備等の工事が進められています。

水道事業におきましては、配水管の比奈窪橋への添架とバイパス道路における敷設工事を実施して水道管のループ化を図り、将来における水需要や飲料水の安定供給など維持管理の向上に努めました。